

Q001 基礎 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、介護過程の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者の生活課題、強み、希望、環境を情報収集・分析すること。
- B. 本人、家族、記録、多職種から支援に必要な情報を集めること。
- C. アセスメント、計画、実施、評価を循環させ、根拠ある介護を展開する方法。
- D. 目標、支援内容、留意点、評価方法を具体化した計画。

答え・解説

正答：C. アセスメント、計画、実施、評価を循環させ、根拠ある介護を展開する方法。

超簡単な解説：介護過程は、アセスメント、計画、実施、評価を循環させ、根拠ある介護を展開する方法。

Q002 介護過程 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 同じ片麻痺でも、家屋構造や生活習慣に合わせて支援する。
- B. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- C. 本人の発言を否定し、誤得して職員の考えに合わせる。
- D. 本人の希望と実際の生活動作を両方確認する。

答え・解説

正答：B. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q003 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護実践で情報収集を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 主観情報と客観情報を合わせることで理解が深まるため。
- B. 抽象的な計画では支援の統一と評価が難しいため。
- C. 変化を早く捉え、必要な見直しにつなげるため。
- D. 安全確認は医療職だけが行うため。

答え・解説

正答：A. 主観情報と客観情報を合わせることで理解が深まるため。

超簡単な解説：情報収集を重視する理由は、主観情報と客観情報を合わせることで理解が深まるため。

Q004 介護過程 | 4択 | 応用

問題

Dさんは生活課題に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、生活課題の観点から本人中心に対応する。

Q005 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 計画 | 4択 | 標準

問題

長期目標に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 計画 | 4択 | 基礎

問題

短期目標に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 介護過程 | 4択 | 応用

問題

実施を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 介護過程 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、評価の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 目標達成状況や支援の効果を確認し、計画を見直す段階。
- B. 観察事実、専門知識、本人の希望に基づき支援方法を選ぶこと。
- C. 利用者の生活課題、強み、希望、環境を情報収集・分析すること。
- D. 目標を具体的・測定可能・達成可能な形にすること。

答え・解説

正答：A. 目標達成状況や支援の効果を確認し、計画を見直す段階。

超簡単な解説：評価は、目標達成状況や支援の効果を確認し、計画を見直す段階。

Q010 介護過程 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 申し送りや会議で支援方法と注意点を確認する。
- D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

答え・解説

正答：D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q011 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護実践で個性性を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の納得と主体性が支援の継続に関わるため。
- B. 生活は一人ひとり異なるため、画一的な支援では不十分だから。
- C. 根拠のない慣習は事故や尊厳侵害につながるため。
- D. 変化を早く捉え、必要な見直しにつなげるため。

答え・解説

正答：B. 生活は一人ひとり異なるため、画一的な支援では不十分だから。

超簡単な解説：個性性を重視する理由は、生活は一人ひとり異なるため、画一的な支援では不十分だから。

Q012 介護過程 | 4択 | 応用

問題

Fさんは根拠に基づく介護に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、根拠に基づく介護の観点から本人中心に対応する。

Q013 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q014 連携 | 4択 | 標準

問題

チームでの計画共有に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q015 意思決定 | 4択 | 基礎

問題

本人参加の計画作成に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q016 基礎 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、介護過程の説明としてより適切なものはどれか。

- A. アセスメント、計画、実施、評価を循環させ、根拠ある介護を展開する方法。
- B. 本人が望む生活と現状の間にある支援上の課題。
- C. 本人が将来的に目指す生活の姿を示す目標。
- D. 利用者の生活課題、強み、希望、環境を情報収集・分析すること。

答え・解説

正答：A. アセスメント、計画、実施、評価を循環させ、根拠ある介護を展開する方法。

超簡単な解説：介護過程は、アセスメント、計画、実施、評価を循環させ、根拠ある介護を展開する方法。

Q017 介護過程 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- B. 『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。
- C. 本人の希望と実際の生活動作を両方確認する。
- D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

答え・解説

正答：A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q018 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護実践で情報収集を重視する理由として、より適切なものはどれか。

- A. 主観情報と客観情報を合わせることで理解が深まるため。
- B. 本人の納得と主体性が支援の継続に関わるため。
- C. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- D. 変化を早く捉え、必要な見直しにつなげるため。

答え・解説

正答：A. 主観情報と客観情報を合わせることで理解が深まるため。

超簡単な解説：情報収集を重視する理由は、主観情報と客観情報を合わせることで理解が深まるため。

Q019 介護過程 | 4択 | 応用

問題

Aさんは生活課題に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、生活課題の観点から本人中心に対応する。

Q020 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例20）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 計画 | 4択 | 標準

問題

長期目標に関する情報をチームで共有する場面で、より適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 計画 | 4択 | 基礎

問題

短期目標に関連して介護職が観察する内容として、より適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 介護過程 | 4択 | 応用

問題

実施を支援計画に反映する際の考え方として、より適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 介護過程 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、評価の説明としてより適切なものはどれか。

- A. 介護計画を関係職種で共有し、同じ方向で支援すること。
- B. 目標達成状況や支援の効果を確認し、計画を見直す段階。
- C. 利用者の生活課題、強み、希望、環境を情報収集・分析すること。
- D. 長期目標に向けて、一定期間で達成を目指す具体的な目標。

答え・解説

正答：B. 目標達成状況や支援の効果を確認し、計画を見直す段階。

超簡単な解説：評価は、目標達成状況や支援の効果を確認し、計画を見直す段階。

Q025 介護過程 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 支援後の反応を評価し、必要に応じて計画を見直す。
- D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

答え・解説

正答：D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q026 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護実践で個性性を重視する理由として、より適切なものはどれか。

- A. 本人のできる力より、すべて介助することが自立支援になるため。
- B. 支援の方向性を共有するため。
- C. 職員ごとに対応が違つと混乱や事故につながるため。
- D. 生活は一人ひとり異なるため、画一的な支援では不十分だから。

答え・解説

正答：D. 生活は一人ひとり異なるため、画一的な支援では不十分だから。

超簡単な解説：個性性を重視する理由は、生活は一人ひとり異なるため、画一的な支援では不十分だから。

Q027 介護過程 | 4択 | 応用

問題

Cさんは根拠に基づく介護に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、根拠に基づく介護の観点から本人中心に対応する。

Q028 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例28）

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q029 連携 | 4択 | 標準

問題

チームでの計画共有に関する情報をチームで共有する場面で、より適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があつても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q030 意思決定 | 4択 | 基礎

問題

本人参加の計画作成に関連して介護職が観察する内容として、より適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q031 介護過程 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 目標設定時に本人が何を望むかを確認する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q032 介護過程 | 4択 | 応用

問題

Dさんは生活課題に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、生活課題の観点から本人中心に対応する。

Q033 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例33）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q034 介護過程 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 計画どおり行えない場合は理由を記録し、チームで共有する。
- B. 目標設定時に本人が何を望むかを確認する。
- C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- D. 『自宅で安全に生活を続ける』など本人の希望に沿って設定する。

答え・解説

正答：C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q035 介護過程 | 4択 | 応用

問題

Fさんは根拠に基づく介護に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人の訴えを受け止め、『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、根拠に基づく介護の観点から本人中心に対応する。

Q036 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例36）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q037 介護過程 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- B. 『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 目標が達成できない場合、原因を分析し支援方法を修正する。

答え・解説

正答：A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q038 介護過程 | 4択 | 応用

問題

Aさんは生活課題に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 本人の訴えを受け止め、『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、生活課題の観点から本人中心に対応する。

Q039 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例39）

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q040 介護過程 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

答え・解説

正答：D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q041 介護過程 | 4択 | 応用

問題

Cさんは根拠に基づく介護に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、根拠に基づく介護の観点から本人中心に対応する。

Q042 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例42）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q043 介護過程 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- C. 申し送りや会議で支援方法と注意点を確認する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：B. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q044 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例44）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q045 介護過程 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 計画どおり行えない場合は理由を記録し、チームで共有する。
- B. 目標が達成できない場合、原因を分析し支援方法を修正する。
- C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- D. 同じ片麻痺でも、家屋構造や生活習慣に合わせて支援する。

答え・解説

正答：C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q046 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例46）

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q047 介護過程 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 目標設定時に本人が何を望むかを確認する。
- B. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 『2週間以内に見守りでトイレへ移動する』など評価可能にする。

答え・解説

正答：B. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q048 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例48）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q049 介護過程 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 目標が達成できない場合、原因を分析し支援方法を修正する。
- C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- D. 目標設定時に本人が何を望むかを確認する。

答え・解説

正答：C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q050 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例50）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q051 介護過程 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q052 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例52）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q053 介護過程 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。

答え・解説

正答：B. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q054 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例54）

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q055 介護過程 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。

答え・解説

正答：A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q056 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例56）

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q057 介護過程 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：A. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q058 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例58）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q059 介護過程 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 『自宅で安全に生活を続ける』など本人の希望に沿って設定する。
- B. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- C. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- D. 支援後の反応を評価し、必要に応じて計画を見直す。

答え・解説

正答：C. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q060 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例60）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q061 介護過程 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 『自宅で安全に生活を続ける』など本人の希望に沿って設定する。
- B. 支援後の反応を評価し、必要に応じて計画を見直す。
- C. 目標が達成できない場合、原因を分析し支援方法を修正する。
- D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

答え・解説

正答：D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q062 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例62）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q063 介護過程 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 申し送りや会議で支援方法と注意点を確認する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 目標設定時に本人が何を望むかを確認する。
- D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q064 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例64）

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q065 介護過程 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と実際の生活動作を両方確認する。
- B. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 計画どおり行えない場合は理由を記録し、チームで共有する。

答え・解説

正答：B. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q066 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例66）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。

答え・解説

正答：C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q067 介護過程 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と実際の生活動作を両方確認する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- D. 同じじ麻痺でも、家屋構造や生活習慣に合わせて支援する。

答え・解説

正答：C. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q068 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例68）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q069 介護過程 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- B. 計画どおり行えない場合は理由を記録し、チームで共有する。
- C. 目標設定時に本人が何を望むかを確認する。
- D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

答え・解説

正答：D. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q070 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例70）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q071 介護過程 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- C. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- D. 目標設定時に本人が何を望むかを確認する。

答え・解説

正答：C. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q072 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例72）

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q073 介護過程 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- B. 支援後の反応を評価し、必要に応じて計画を見直す。
- C. 目標が達成できない場合、原因を分析し支援方法を修正する。
- D. 同じ片麻痺でも、家屋構造や生活習慣に合わせて支援する。

答え・解説

正答：A. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q074 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例74）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q075 介護過程 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 『2週間以内に見守りでトイレへ移動する』など評価可能にする。
- B. 目標設定時に本人が何を望むかを確認する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q076 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例76）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。

答え・解説

正答：B. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q077 介護過程 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 『2週間以内に見守りでトイレへ移動する』など評価可能にする。

答え・解説

正答：A. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q078 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例78）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q079 介護過程 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。
- C. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：C. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q080 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例80）

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q081 介護過程 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- C. 計画どおり行えない場合は理由を記録し、チームで共有する。
- D. 『2週間以内に見守りでトイレへ移動する』など評価可能にする。

答え・解説

正答：B. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q082 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例82）

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q083 介護過程 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 『2週間以内に見守りでトイレへ移動する』など評価可能にする。
- C. 『歩けない』だけでなく『トイレに自分で行きたい』という目的を把握する。
- D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q084 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例84）

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q085 介護過程 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 同じ片麻痺でも、家屋構造や生活習慣に合わせて支援する。
- B. 『以前からこうしている』だけでなく、現在の状態に合うか評価する。
- C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q086 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例86）

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q087 介護過程 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、アセスメントを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。
- B. 『自宅で安全に生活を続ける』など本人の希望に沿って設定する。
- C. 本人の希望と実際の生活動作を両方確認する。
- D. 目標が達成できない場合、原因を分析し支援方法を修正する。

答え・解説

正答：A. 本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。

超簡単な解説：アセスメントでは、本人の訴え、観察、家族情報、記録を総合して課題を整理する。この対応が適切である。

Q088 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例88）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q089 介護過程 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、モニタリングを踏まえた介護職の対応としてより適切なものはどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 同じ片麻痺でも、家屋構造や生活習慣に合わせて支援する。
- C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：C. 食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。

超簡単な解説：モニタリングでは、食事摂取量やむせの回数を継続して確認する。この対応が適切である。

Q090 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例90）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q091 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例91）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q092 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例92）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q093 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例93）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q094 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例94）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。

答え・解説

正答：C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q095 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例95）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q096 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例96）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

答え・解説

正答：D. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q097 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例97）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q098 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例98）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q099 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例99）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q100 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例100）

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。

答え・解説

正答：A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q101 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例101）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q102 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例102）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q103 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例103）

- A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- B. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q104 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例104）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q105 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例105）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q106 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例106）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q107 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例107）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q108 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例108）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q109 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例109）

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q110 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例110）

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q111 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例111）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

答え・解説

正答：D. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q112 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例112）

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q113 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例113）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q114 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例114）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q115 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例115）

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q116 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例116）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q117 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例117）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q118 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例118）

- A. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q119 介護過程 | 4択 | 標準

問題

介護計画の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例119）

- A. 誰が見ても同じ支援ができるよう、具体的な方法を書き込む。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：介護計画では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q120 計画 | 4択 | 標準

問題

目標の具体性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。（事例120）

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 『元気になる』ではなく『毎食半量以上を自力摂取する』と表現する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：目標の具体性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。